



### 聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: [goukaku@u-sacred-heart.ac.jp](mailto:goukaku@u-sacred-heart.ac.jp) (?) · 8月12日 15:00 ·

シリーズ学生記者が行くー広尾Walking 2018ー  
「 広尾学園 」



ここ広尾学園では、国際教育に力を入れており、日本語で授業を行う本科コースに加え、インターナショナルコースも設置されています。今回私は、高等学校2年生の橋本さんにお話を伺いました。橋本さんは以前、中国に8年間暮らしており、現地のインターナショナルスクールに通われていました。日本に帰国後、英語が好きで、同じバックグラウンドを持つ仲間と出会い、共感したいという思いから、この広尾学園への入学を希望したそうです。

現在、広尾学園のインターナショナルコースで学ぶ高校2年生は30名程度です。学年により人数が異なり、今年度の高校1年生は70名程度だそうです。このコースの80%を占めているのは日本人の帰国子女で、外国人の生徒よりもはるかに日本人の割合が高いそうです。

ほとんどの授業は英語で行われていますが、英語と日本語の両方を使いこなせる日本人の帰国子女が多いため、授業を受けていて内容の理解に苦しむことはないそうです。保健や地理、体育の

授業は本科コースの生徒と合同で受けるため、日本語で行われる授業にも参加しています。普段から英語に触れることの多い橋本さんは、日本語で行われる授業のほうが大変だといいます。いくつかの授業や学校行事は本科コースと合同で行われるため、インターナショナルコースに所属していても本科コースの友人がたくさんできるそうです。

橋本さんに、広尾学園に入学してよかったことについて伺うと、良い仲間と出会えたこと、とお話しされていました。そんな友人たちとの会話はどの言語を用いているのかたずねてみると、インターナショナルコースでは、ほとんどの人が英語でコミュニケーションをとっているそうです。なかには、一方は英語で話し、もう一方は日本語で話す人もいます。これはお互いが英語を流暢に話し、そして聞き取れるからこそコミュニケーションが成り立つのではないのでしょうか。そんな橋本さんたちは将来、医者や外交官になりたいという人が多いそうです。英語を公用語とする企業が増える現代社会において、抜群の英語環境が整っている広尾学園の卒業生達の活躍のチャンスがたくさん広がっていきますように。

広尾学園のHPはこちら <http://www.hiroogakuen.ed.jp/>